



# 危険な場所知って

地域安全MAPを制作する児童  
 松山市別府町の味生ふれあいセンターで

## 松山・地域安全MAP教室 味生第二小生ら参加

犯罪が発生しやすい危険な場所を子どもたちに知ってもらう「地域安全MAP教室」(「たいじょうぶ」キャンペーン実行委、エフエム愛媛主催、東京海上日動火災保険協賛)が29日、松山市別府町の味生ふれあいセンターであった。講師を務めた小宮信夫・立正天教授は「犯罪者は犯行の場所を選ぶ。危険な場所を知り、近づかないように」と参加した市立味生第二小の児童約20人に呼びかけた。犯罪や災害などから子どもたちや高齢者、地域を守る街づくりを目指す同キャンペーンの一環。「地域安全MAP教室」は小宮教授が考案したもので、「(犯罪者が入りやすい)」「(周囲からの見えにくい)場所を自ら探し出す」と危険察知能力を身につけてもらうのが目的。

この日は東京海上日動火災保険や代理店の社員約20人が先生役として参加。東京海上日動火災保険と包括連携協定を結ぶ市の職員も協力し、同小近隣の道路や公園など危険な場所を調査。写真撮影し、「コメント」を書き加えて地図を完成させた。

参加した同小4年の大野瑠夏さん(10)は「危険な場所が分かったので友達にも教えてあげて気をつけた」と話した。小宮教授は「危険な場所には近づかない、行かなくてはならない場合は一人で歩かない、どうしても一人で歩かないといけない場合は気を付けること」と訴えた。

【中川祐一】

たいじょうぶ

2018年9月30日(日)付 毎日新聞 愛媛県版  
 「地域安全MAP教室」松山市立味生第二小学校実施分 報告記事